

2018年度決算

(2018/4~2019/3)

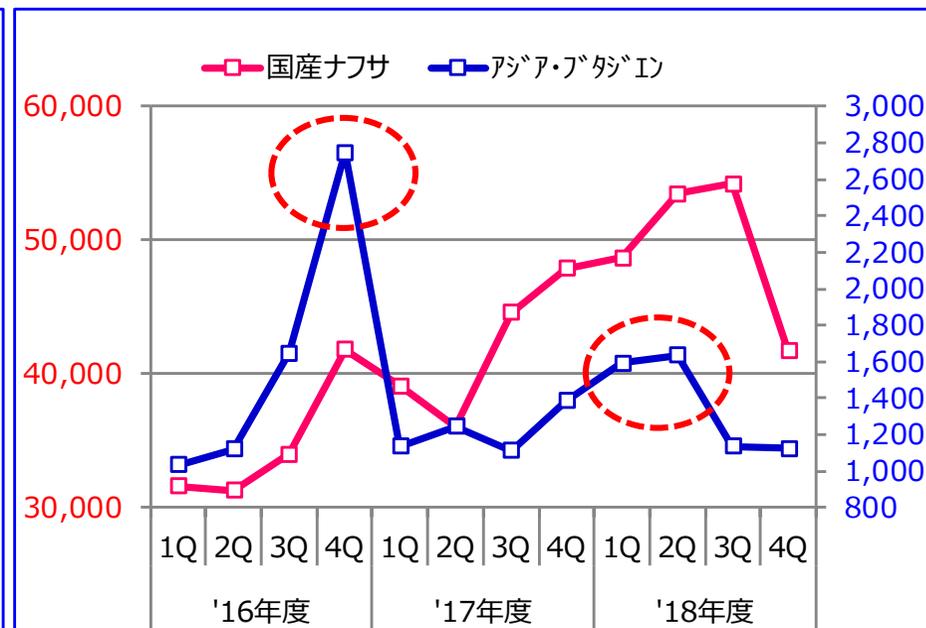
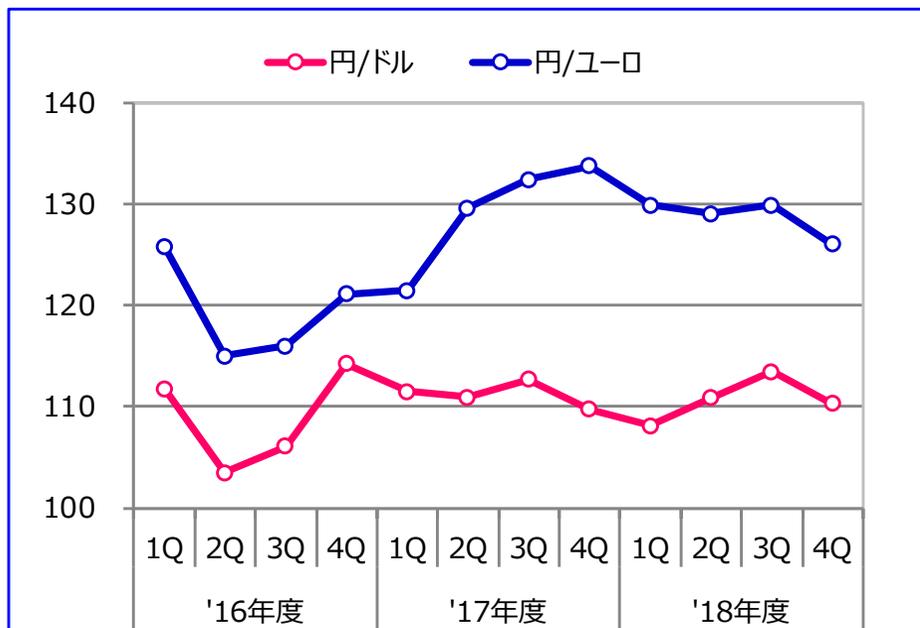
ZEON

日本ゼオン株式会社

2019年4月26日

- ◆事業環境
- ◆事業概況・トピックス
- ◆全体損益
- ◆セグメント損益：エラストマー素材
- ◆セグメント損益：高機能材料
- ◆セグメント損益：その他
- ◆貸借対照表
- ◆2019年度業績予想

(通期平均)	2018	2017	増減	増減率
円/ドル	110.7	111.2	-0.5	-0 %
円/ユーロ	128.7	129.3	-0.6	-0 %
原油 (\$/bbl)	70	58	12	21 %
国産ナフサ (円/kl)	49,500	41,900	7,600	18 %
アジア・ブタジエン (\$/t)	1,372	1,221	151	12 %
イプロン (\$/t)	1,465	1,331	134	10 %
天然ゴム (\$/t)	1,348	1,493	-145	-10 %



事業概況

■ エラストマー素材

・ ゴム事業

国内販売、海外子会社とも堅調に推移したが、特殊品の輸出が低調。また、原料価格変動の影響を受け、営業利益は前期を下回った。

・ ラテックス事業

国内樹脂改質用ラテックスおよび中国向けの販売等が低調であった。NBR手袋用途は微減。

・ 化成品事業

国内販売・輸出・海外子会社とも堅調に推移。その中でSISが伸長した。採算改善中だが、原料価格上昇の影響を受け、営業利益は前年同期を下回った。

■ 高機能材料

・ 高機能ケミカル事業

化学品は需給タイトな環境から価格改定が進んだ。また電池材料も順調に拡大が進んだ。

・ 高機能樹脂事業

COP樹脂は光学・医療用途の販売が堅調に推移。光学フィルムはテレビ向け、モバイル向けともに顧客の在庫調整影響を受けた。

トピックス

【 2018年 】

4月：川崎工場における特殊架橋タイプ水素化ニトリルゴムの乾燥能力増強を決定。
(2019年9月完工予定)

8月：タイにアクリルゴムの製造・販売を行う子会社を設立し、新工場建設を決定。

10月：富山県高岡市における光学フィルムの原反製造ライン生産能力増強を決定。
(2019年10月稼働開始予定)

10月：福井県敦賀市において光学フィルムの大型TV向け位相差フィルム製造ライン新規増設を決定。
(2020年4月量産開始予定)

【 2019年 】

1月：シンガポール子会社の固定資産(S-SBR製造設備)を減損(86億円)

	2018	2017	増減	増減率
売上高	3,375	3,327	48	1 %
営業利益	331	389	-57	-15 %
営業外収支	32	20	12	58 %
経常利益	363	409	-46	-11 %
特別収支	-93	-160	68	- %
税前利益	270	249	22	9 %
当期純利益	185	131	54	41 %

前年同期比

売上高： 48億円増収 営業利益： 57億円減益

◆エラストマー素材：増収・減益

販売価格の上昇によりゴム、化成品で増収。

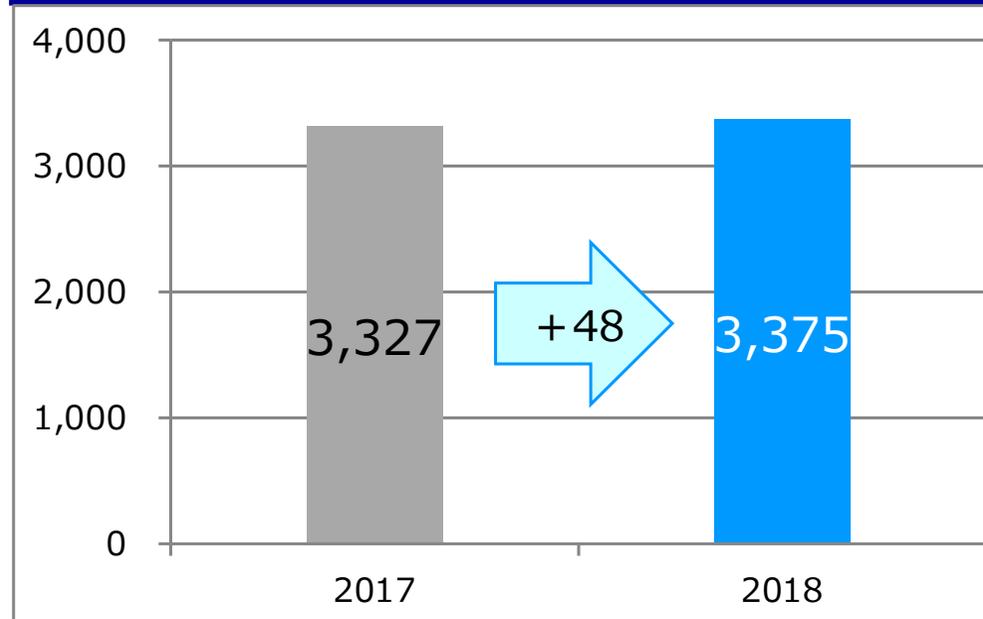
しかし、下期以降の原料価格下落の影響が大きく、減益となった。

◆高機能材料：減収・減益

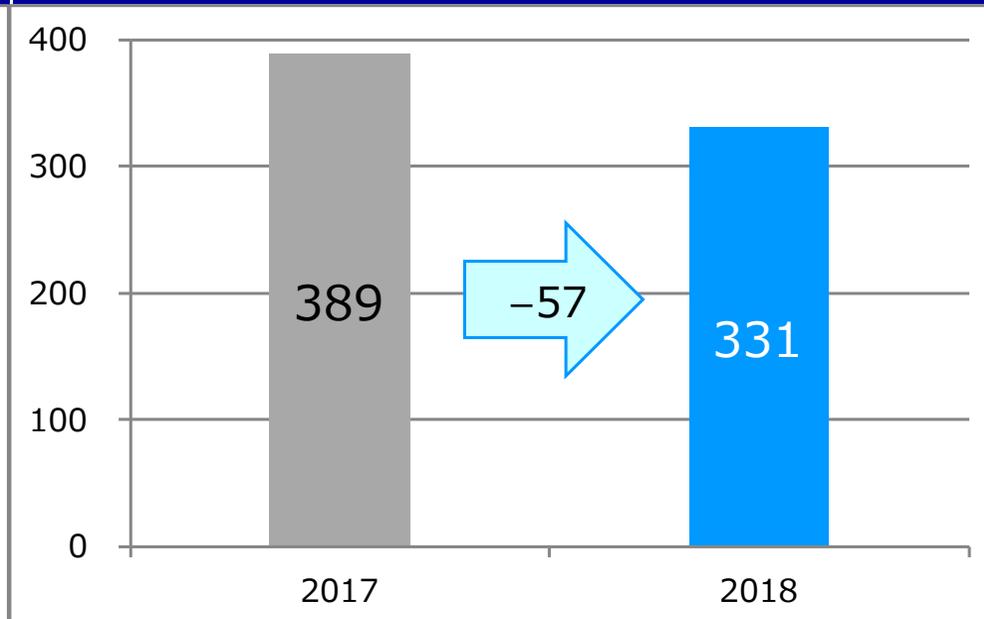
高機能ケミカルは、化学品・電池材料が堅調に推移し増収。

高機能樹脂・部材は顧客の在庫調整が影響し減収。

売上高



営業利益



<売上高>

エラストマー素材	+35
高機能材料	-13
その他・消去	+26

<営業利益>

エラストマー素材	-45
高機能材料	-6
その他	-6

	2018	2017	増減	増減率
販売数量（千トン）	616	621	-5	-1 %
ゴム	355	360	-5	-1 %
ラテックス	123	130	-7	-5 %
化成品	138	131	7	5 %
売上高	1,981	1,946	35	2 %
ゴム	1,388	1,380	7	1 %
ラテックス	188	192	-4	-2 %
化成品	383	347	36	10 %
その他・消去	22	26	-4	-15 %
営業利益	177	222	-45	-20 %
営業利益率	8.9%	11.4%	-2.5 pt	

◆エラストマー素材：増収・減益

販売価格の上昇によりゴム事業・化成品事業で増収。

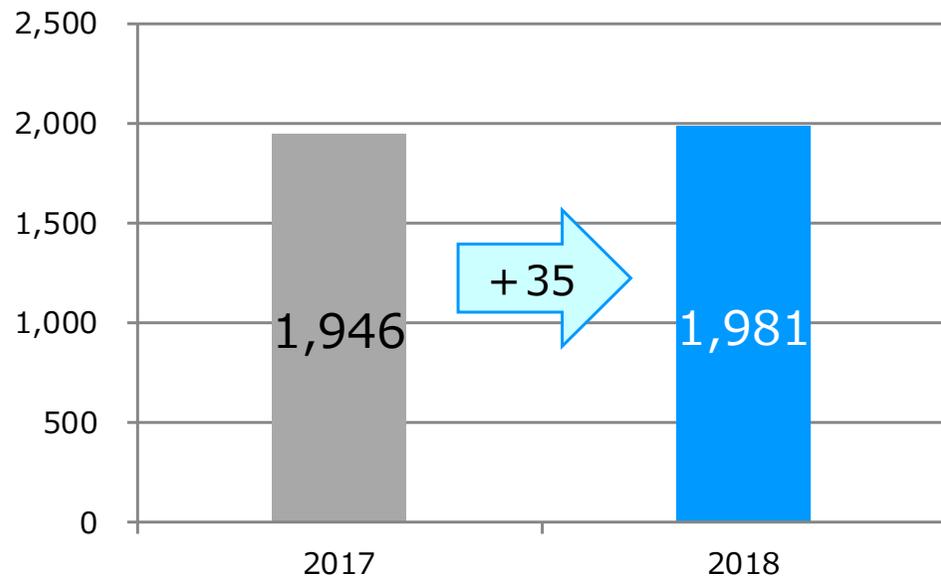
化成品事業では、特にSISが伸長。価格改定による利益改善中。

◆ゴム販売数量増減率 - 1 %の内訳

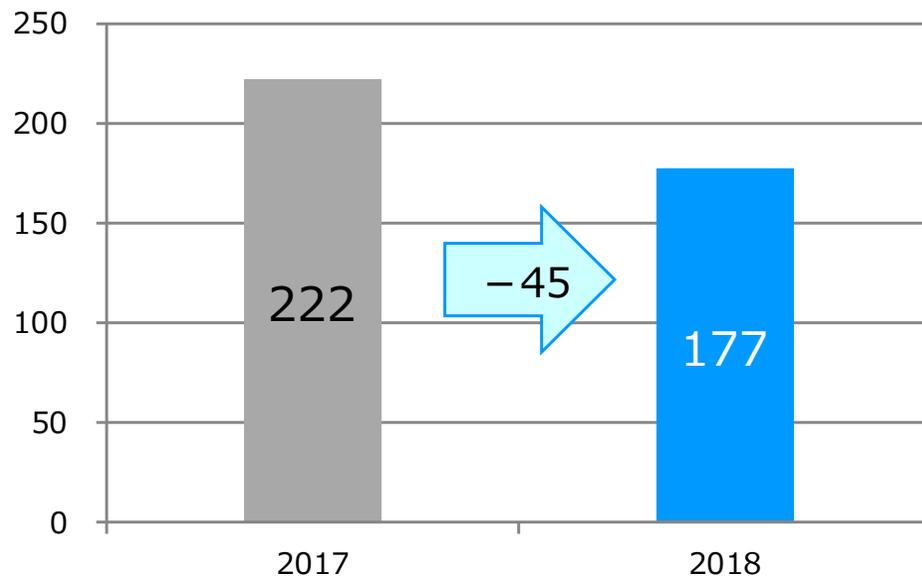
汎用 -1% → 国内、海外ともに低調も、S-SBRは伸長。

特殊 -4% → 輸出は低調であったが、国内・海外子会社は堅調

売上高



営業利益



<売上高>

ゴム	+ 7	: 販売価格上昇、海外子会社堅調
ラテックス	- 4	: 国内樹脂改質・中国向け低調
化成品	+ 36	: 原料価格上昇に伴い価格改定
その他・消去	- 4	

<営業利益 前年同期比較>

数量差	+ 10	: 化成品 海外販売数量増
価格差	+ 42	: 販売価格上昇、化成品値上浸透
為替差	- 4	: 111.2円/\$ → 110.7円/\$
原価差	- 90	: 原料価格上昇
販管費差	- 3	: 定検に伴うゴム在庫保管料増加、 化成品数量増に伴う運賃増加

	2018	2017	増減	増減率
売上高	851	865	-13	-2 %
高機能ケミカル	276	243	33	13 %
高機能樹脂	519	565	-46	-8 %
メディカル他	57	56	0	1 %
営業利益	161	167	-6	-4 %
営業利益率	18.9%	19.4%	-0.4 pt	

◆高機能材料：減収・減益

化学品は価格改定し引き続き好調。電池材料も堅調。
COP樹脂は堅調。光学フィルムは低調。

◆高機能ケミカル部門の売上増減率 +13%の内訳

化学品 +1%、電子材料 -1%、電池材料 +32%、トナー +11%

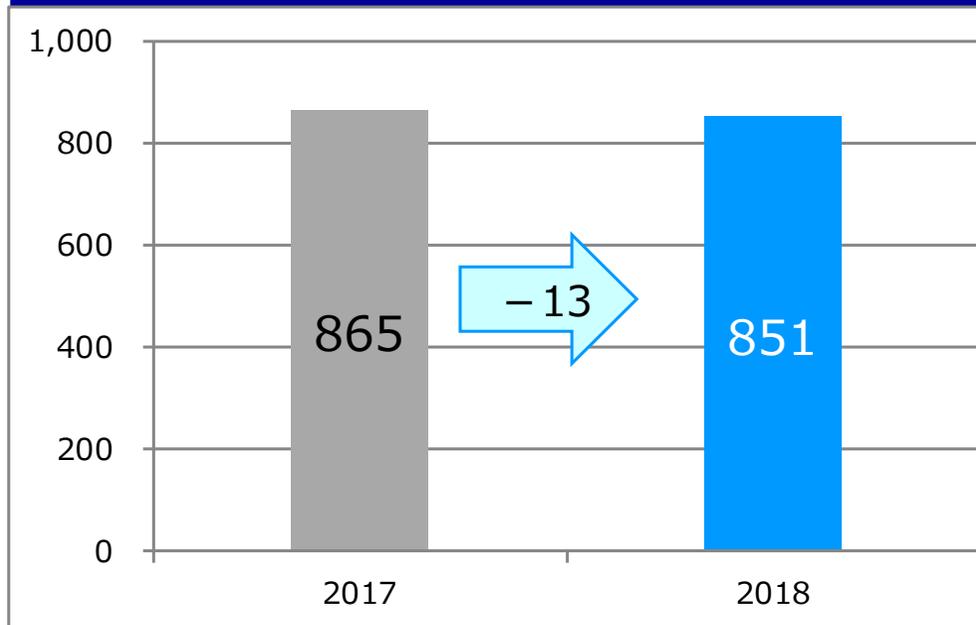
◆高機能樹脂部門の売上増減率 -8%の内訳

光学フィルム -10%

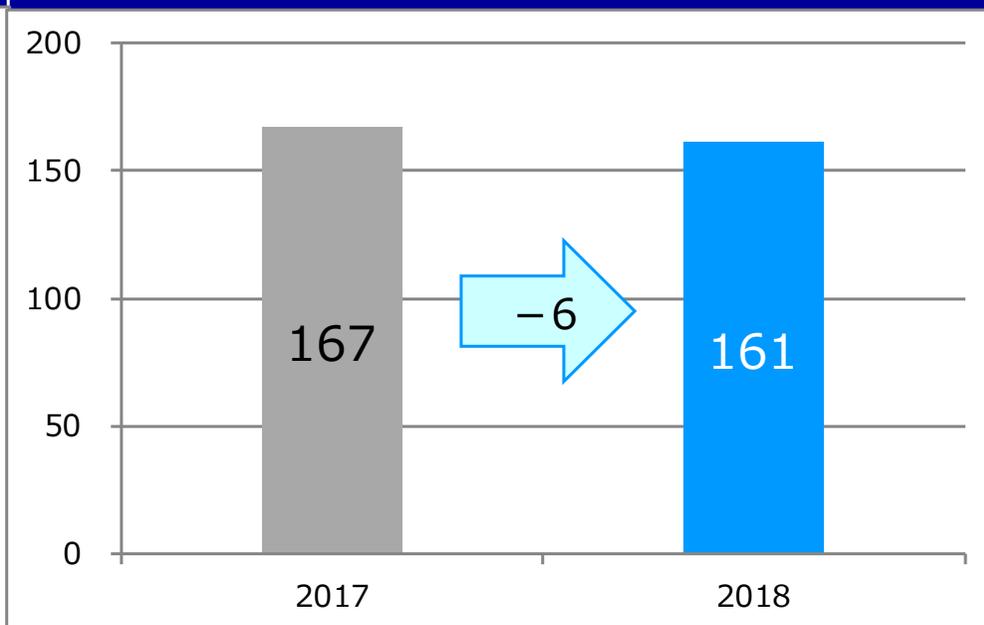
◆光学フィルム販売数量 -1%

◆中小型向け光学フィルム比率（売上高） 2017年 28%→2018年 21%

売上高



営業利益



＜売上高＞

高機能ケミカル	+33	: 化学品・電池材料堅調
高機能樹脂	-46	: 光学フィルム顧客在庫調整
メディカル他	+0	

＜営業利益 前年同期比較＞

数量差	+18	: 電池材料数量増
価格差	-2	: 光学フィルム構成差
為替差	-1	: 111.2円/\$ → 110.7円/\$
原価差	-17	: 原料価格上昇
販管費差	-4	: 電池材料数量増による運賃増

	2018	2017	増減	増減率
売上高	567	539	28	5 %
営業利益	28	32	-4	-13 %
営業利益率	4.9%	5.9%	-1.0 pt	

◆その他 : 増収・減益

商社部門の販売およびRIM事業が堅調に推移。

資産			
	19/3末	18/3末	増減
流動資産	2,272	2,249	24
現預金	375	417	-41
売掛債権	784	793	-10
未収入金	357	362	-6
棚卸資産	711	639	72
その他	46	37	8
固定資産	1,977	2,157	-180
有形固定資産	1,023	1,156	-132
無形固定資産	32	34	-2
投資有価証券	811	874	-63
その他	111	94	17
資産合計	4,249	4,405	-156

資本的支出	146
減価償却費	-188
その他影響	-93
固定資産増減	-134

◆キャッシュ・フロー

	2018	2017
営業活動によるキャッシュ・フロー	404	545
投資活動によるキャッシュ・フロー	-214	-150
フリー・キャッシュ・フロー	190	395
財務活動によるキャッシュ・フロー	-236	-116
キャッシュ・フロー	-46	279

負債・純資産			
	19/3末	18/3末	増減
流動負債	1,300	1,393	-92
買入債務	824	840	-16
短期有利子負債	121	266	-144
その他	355	287	68
固定負債	357	413	-56
長期有利子負債	120	120	0
その他	237	293	-56
純資産	2,592	2,599	-8
自己資本	2,562	2,572	-10
その他	30	28	2
負債・純資産合計	4,249	4,405	-156

有利子負債	241	386	-144
自己資本比率 (%)	60.3	58.4	1.9
D/Eレシオ	0.09	0.15	-0.06

◆社債償還100億円を実施。
有利子負債減少に伴い、自己資本比率、
D/Eレシオが改善。

2019年度業績予想 億円

	2019	2018	増減	増減率
売上高	3,300	3,375	-75	-2 %
Iラストマ-素材	1,900	1,981	-81	-4 %
高機能材料	860	851	9	1 %
その他	565	567	-2	-0 %
消去	-25	-25	-0	
営業利益	300	331	-31	-9 %
営業利益率	9.1%	9.8%	-0.7 pt	
Iラストマ-素材	144	177	-33	-19 %
高機能材料	170	161	9	5 %
その他	-14	-7	-7	- %
営業外収支	20	32	-12	-37 %
経常利益	320	363	-43	-12 %
当期純利益	220	185	35	19 %
円/ドル	105.0	110.7	-5.7	-5 %
円/ユーロ	120.0	128.7	-8.7	-7 %
国産ナフサ	39,000	49,500	-10,500	-21 %
アジア・ブタジイン	1,250	1,372	-122	-9 %

(円/kl)
(ドル/t)

本資料に掲載されている当社の計画、見直しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果となる場合があります。

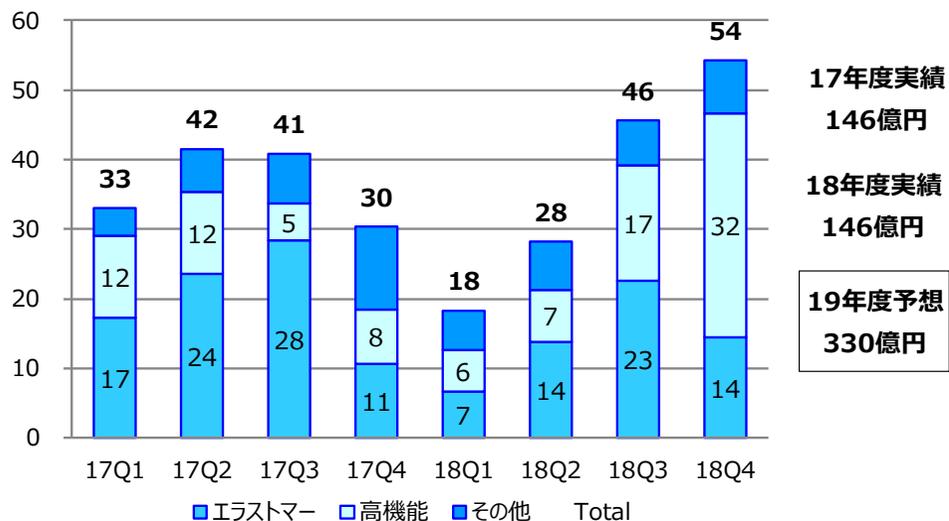
2019年度 第1四半期	2019年7月31日(水) 発表予定
-------------------------	---------------------------

※上記の予定は、都合により予告なく変更する場合がございます

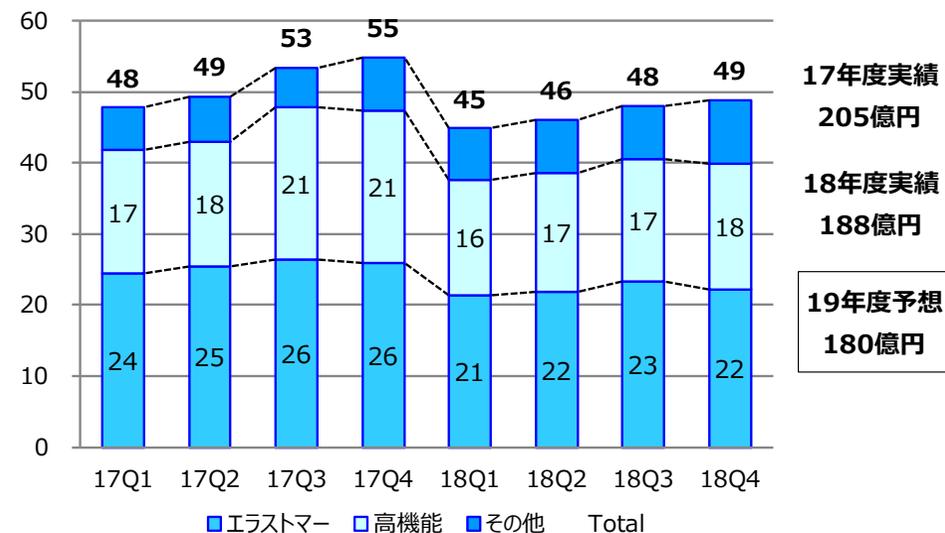
参考資料: 四半期損益推移 億円

	2017				2018				Q3→Q4	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	増減	増減率
販売数量 (千トン)	149	154	156	162	159	149	145	164	19	13%
ゴム	84	92	90	93	91	84	80	99	19	23%
ラテックス	33	32	32	33	31	29	30	32	2	6%
化成品	32	30	34	36	37	35	34	32	-1	-4%
売上高	828	839	843	817	837	854	855	829	-26	-3%
エラストマー素材	492	492	476	486	509	493	490	489	-1	0%
ゴム	345	350	347	339	363	340	339	345	5	2%
ラテックス	52	48	45	47	44	51	48	45	-3	-7%
化成品	88	89	77	93	98	96	95	94	-1	-1%
その他・消去	6	6	7	7	4	6	7	5	-3	-35%
高機能材料	212	219	231	203	195	229	223	205	-18	-8%
高機能ケミカル	55	58	66	64	66	68	70	72	2	3%
高機能樹脂	144	146	150	124	116	148	138	117	-21	-15%
メディカル他	13	15	14	14	14	12	15	16	1	8%
その他・消去	124	128	137	128	132	132	143	136	-7	-5%
営業利益	97	102	108	82	85	95	90	61	-29	-32%
営業利益率	12%	12%	13%	10%	10%	11%	11%	7%	-3 pt	
エラストマー素材	54	60	52	55	51	44	49	33	-16	-32%
高機能材料	41	41	52	33	34	53	42	32	-11	-25%
その他	1	2	3	-7	-1	-2	-0	-3	-3	-

資本的支出 推移



減価償却費 推移



研究開発費 推移

